

平田オリザさんと創る 【表現力を磨く演劇ワークショップ】



講師

劇作家・演出家
芸術文化観光専門職大学学長

平田オリザ Oriza Hirata

【ブレндиッド】 回ごとに開催形態が異なります。各回指定の方法でご参加ください。

演劇のメソッドで体感するコミュニケーションと表現

国際化時代におけるコミュニケーション能力とはなにか、なぜ、演劇や芸術に触れることがコミュニケーションのツールとして重要なのか、じっくりと考え経験していきます。表現力やコミュニケーション能力は、一朝一夕で身につくものではありません。この講座を受講すれば、みるみるコミュニケーション能力がついてくるといったノウハウやスキルを切り売りする講座ではありません。人生観が変わるといったキャッチーな触れ込みもありませんが、確実に、参加者の世界観を広げるお手伝いはできると考えています。どなたでも参加いただけるメソッドで進めますので演劇経験の必要はありません。身体と頭と心をほぐし、表現リテラシーを磨きましょう。

また本年は、対面とオンラインのハイブリットということで、オンラインの回では「社会における芸術の役割」「コミュニケーション教育の現在」など幅広い内容で演劇や舞台芸術の魅力にも触れていただきます。

平田オリザ

1・30|日
10:00-17:00
【丸の内】

コミュニケーション能力
とはなにか

1

【前半】緊張をほぐし、リラックスした状態でプログラムに参加できるよう簡単なコミュニケーションゲームから始めます。さまざまなゲームを体験し、イメージの共有しやすいものから、次第にイメージの共有しにくいもの(人間の心)をどのように伝えるのか、コミュニケーションの本質を考えます。

【後半】一つの言葉から受けるイメージ、言語に関する行動は、国、民族、文化はもちろん、一人ひとり異なります。相手はどのような意味でその言葉を使っているのか、「コンテキストのズレ」に気づき、「コンテキストのすり合わせ」を体験することによって、コミュニケーションの本質を捉えます。

2・14|月
19:00-21:00
【オンライン】

観光と芸術

4

観光において芸術が果たす役割を解説し、2021年四月に開校した芸術文化観光専門職大学の内容についても紹介します。

2・17|木
19:00-21:00
【オンライン】

演劇史および劇場の役割

5

日本の近代演劇の歴史や、劇場が果たしてきた役割の解説を通じて、社会における芸術の役割をさらに深く掘り下げていきます。

2・3|木
19:00-21:00
【オンライン】

異文化コミュニケーション
とは何か

2

現在進行形で各地で行われているコミュニケーション教育を紹介し、その意義や、将来の展望などを解説します。

2・20|日
10:00-17:00
【丸の内】

創作の喜び・演じる楽しみ

6

【前半】人間は、とすれば一つのこと意識を集中しがちです。演劇でも、台詞に集中するだけではリアルな演技をすることはできません。ここでは、台詞の意味内容に集中しすぎることなく、声の大きさ、トーン、表情、身体の動かし方などへ意識を分散するトレーニングを行います。

また、演出家には、観客の想像力の幅をある程度想定してプランを立てることが求められます。コミュニケーション、とりわけプレゼンテーションに必要な演出の技術について考えます。

【後半】古今東西の物語を支える普遍的な構造はなにか。創作を通じて、表現の本質を捉えます。

2・10|木
19:00-21:00
【オンライン】

社会における芸術の役割

3

まちづくりや、社会包摂に果たす芸術の役割を国内外の事例を挙げて紹介し、芸術の広範囲な広がりについて解説します。


演じる

【テキスト】(1-2分程度の短い台詞の台本)に沿って役割を演じることで、コンテキスト(場の流れ)を身体で感じ、理解します。

学ぶ

演劇の持つ力やその背景について、オンラインのセッションで学びます。

開催概要

日程	2022年 1/30(日)、2/3(木)、2/10(木)、2/14(月)、2/17(木)、2/20(日)
開催形態	ブレンディッド (回ごとに開催形態が異なります)
回数	6回
時間	第1・6回 10:00-17:00(丸の内) 第2-5回 19:00-21:00(オンライン)
定員	20名
参加費	110,000円(税込)
会場	第1・6回 丸の内キャンパス 第2-5回 オンライン(Zoom)
おすすめしたい方	・身体を動かしながら自己表現・プレゼンテーションの力を高めたい方 ・グローバルなコミュニケーション力を探求したい方 ・新デザイン、新サービスなど抽象的概念や目に見えないものを他の人に伝えたい方 ・文化行政、芸術教育に関心のある方
申込み	http://www.sekigaku-agera.net/ 

講師プロフィール

平田 オリザ(ひらた おりざ)

大学在学中に劇団「青年団」を結成、こまばアゴラ劇場を拠点に活動。1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞、2003年『その河をこえて、五月』で第2回朝日舞台芸術賞グランプリ、2019年『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞を受賞。2011年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。その戯曲はフランスを中心に世界各国語に翻訳・出版されている。現在、江原河畔劇場 芸術総監督、こまばアゴラ劇場芸術総監督、豊岡演劇祭フェスティバル・ディレクター、豊岡市文化政策担当参与。

2019年より豊岡市日高町に移住、2020年に劇団の新拠点となる江原河畔劇場を設立。コミュニケーションデザインの教育・研究に携わるとともに、日本各地の学校において、対話劇やワークショップを実践するなど、演劇の手法を取り入れた教育プログラムの支援・開発にも力を注ぐ。

■主な著書

『ニッポンの芸術のゆくえ なぜ、アートは分断を生むのか?』(共著、青幻舎)

『下り坂をそろそろと下る』(講談社現代新書)

『わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か』(講談社現代新書)

『演劇入門』(講談社現代新書)

『対話のレッスン 日本人のためのコミュニケーション術』(講談社学術文庫)

講座の開催方法およびキャンパスにお越しになる皆様へのお願い

本講座は【ブレンディッド】形態で開催いたします。ただし今後の状況により【オンラインのみ】に開催形態を変更する場合があります。お申し込みにあたっては、下記開催形態およびキャンパスへお越しになる皆様へのお願いをご確認の上、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【ブレンディッド】

第1・6回

丸の内キャンパス



第2・3・4・5回

オンライン(Zoom)



ブレンディッド開催とは

- ・回ごとに開催形態が異なります。各回指定の方法でご参加ください。
- ・今後の状況により全回【オンラインのみ】の開催となる場合があります。

第2回～第5回のオンライン(S2-S5)参加について

- ・オンライン会議システム Zoom を使って配信します。
- ・パソコン(またはスマートフォン、タブレット)およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoom を初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

キャンパスにお越しになる皆様へのお願い

- ・事前に体調を確認の上お越しください。発熱、咳などの症状、体調不良、また過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域に訪問歴がある場合はご来場をお控えください。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。

会場の感染予防措置

- ・講師およびスタッフのマスク着用、手指消毒、体調管理の徹底
- ・教室共用部分の清掃、消毒(机、椅子背もたれ、ドアノブ等)
- ・アルコール消毒液と清浄綿の設置
- ・可能な限り間隔を開けた座席配置
- ・常時空調換気と適宜教室扉の開放換気
- ・喫煙ルームの閉鎖

お問い合わせ 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com



今後の状況によっては対応施策が変更となる場合がございます。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。